

明石市立大蔵中学校 家庭学習の手引き

進路希望実現に向け目標を持ち、自分に合った学び方を身につける

学習の特徴

- ・中学校の学習内容はより専門的になり、質・量ともに多くなります。自ら課題を見つけ、解決する力が必要になります。
- ・筋道を立てて考える力や、広い視野で物事を見る力がさらに必要になります。
- ・新しく学習したことを覚えるだけでなく、生活に関連づけて自分の考えを言えることが必要になります。
- ・自分の特性を理解してくるとともに、得意な教科・苦手な教科がはっきりとしてきます。

家庭学習のポイント

学習環境を整えよう！

ポイント

1

学習する場所を決め、机の上を片付けて学習に必要な物だけを準備するなど整理整頓をし、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。学習前に配布物を家の人に渡して、「毎日のあゆみ」を確認してから始める習慣や、ながら勉強をしない習慣を身につけることが大切です。落ち着いて良い姿勢で学習に取り組めるようにしましょう。机に向かったらすぐに始められるようにしましょう。

ポイント

2

授業を大切にしよう！

テスト直前の学習や結果だけに目を向けるのではなく、日々の学習や授業を大切にしましょう。出された宿題はその日のうちに終わらせられるようにしましょう。「毎日のあゆみ」を確認し、次の日に必要な物から優先的に取り組みましょう。予習復習を欠かさず授業に臨みましょう。

ポイント

3

+α (プラスアルファ) の学習をしよう！

宿題や課題はもちろん、自分の苦手な教科を克服するための学習時間を確保しましょう。自分に合った学習方法を見つけることが大切です。自分の考えを深めたり知識を広げたりするために読書や新聞を読むことで、社会の出来事に対する関心を高めましょう。

保護者の方へ ○日々の学習に取り組んでいる様子も見て、ほめたりはげましたりしてあげてください。
○新聞やニュース、読んだ本などの話題について、家族で意見交換をしてみましょう。
○学ぶことの意味や学び続けることの大切さについて、話す機会を持ちましょう。

学習内容や方法

学校では主にこんな学習をしています

①1年生 ②2年生 ③3年生

- [国語]①物語・説明文・詩・随筆・古文・漢文・文法②詩・小説・随筆・短歌・情報・評論・古文・漢詩・文法③随筆・小説・論説文・俳句・詩・古文・文法
[数学]①文字の式・方程式・関数・図形・資料の活用②式の計算・連立方程式・一次関数・図形の調べ方・図形の性質と証明・確率③因数分解・平方根・二次関数・三平方の定理
[社会]①地理(世界の諸地域)・歴史(縄文～戦国)②地理(日本の諸地域)・歴史(江戸～明治)③歴史(大正～現代)・公民(日本国憲法・政治・経済)
[理科]①植物・身の回りの物質・大地・光・音・力②動物・化学変化・天気・電気
③遺伝・イオン・エネルギー・天体・科学技術
[英語]①be 動詞と一般動詞・whatを含む疑問文②過去と未来の表現・to不定詞・動名詞
③受動態・現在完了・関係代名詞 等

家庭学習の方法や内容 学習時間のめやす【学年×1時間】



国語

- ・毎日漢字練習(1日1ページ 100～200字程度)をしましょう。
- ・学習する(した)単元について、声を出して教科書を読みましょう。わからない言葉は辞書を引いて、意味を確認しておきましょう。学習後は、ワークブックなどの問題を解きましょう。
- ・古典教材については、現代仮名遣いに直し繰り返し本文を音読しましょう。重要古語の意味を覚えましょう。
- ・読書に親しみましょう。

数学

- ・基礎計算を繰り返し練習し、計算力を高めましょう。
- ・授業の振り返りをし、わからなかった問題や時間が足りずにできなかった問題をもう一度解いてみましょう。間違えた問題は繰り返し出来るまで練習しましょう。
- ・テストでできなかった問題は繰り返し練習をしましょう。理解ができれば類似問題に挑戦し、力をつけていきましょう。
- ・生活の中に置き換えたりして、考える時間を持ちましょう。

社会

- ・予習として、教科書を読み、重要な語句やわからない語句を確認しノートにまとめましょう。
- ・復習として、問題集に取り組み、間違えたところや苦手なところを中心に繰り返し見直しましょう。また、再度、教科書を読み、ノートを確認しましょう。重要な語句を書きだし、まとめて整理するのも良いでしょう。
- ・ワークやプリントのやり直しを定期的に行いましょう。

理科

- ・ワークは間違えた問題を中心に2回以上解き、確実に知識を定着させましょう。完成させるだけでなく、繰り返し学習しましょう。重要語句や公式を使えるようになります。
- ・観察・実験の目的や方法、結果、考察を自分の言葉で説明できるように整理して理解しましょう。
- ・目に見える現象をよく理解して、類似する現象が頭の中でイメージできるようにしましょう。
- ・図やグラフ、文章問題に根気強く考えるよう心がけましょう。
- ・新聞やニュースを読んだり見たりして、科学的な内容に興味を持ちましょう。

英語

- ・ワーク等の問題集を3回は繰り返し解きましょう。
- ・区切りとリズムを意識して何度も繰り返し教科書本文を音読しましょう(1日5分)。
- ・綴りと音の関係に留意して書く練習をしましょう。
- ・英語の物語などをよんで、長文に慣れ親しみましょう。
- ・日頃からラジオやCDなどで、生の英語を聞く機会をできるだけ多く持ちましょう。
- ・単語を繰り返し練習しましょう。
- ・日常生活のいたるところにあふれている英語に関心を持って見聞きましょう。